



7月 ほけんだより

令和8年6月30日

名手保育園

夏に多い感染症

ウイルス性によっておこる病気です。他人への感染力も強いので、必ず受診をして医師の診断を受けてください（症状が回復し、登園するときは登園届が必要になります。保育園のしおり、また名手保育園のホームページを参照してください。ご不明な点があれば事務所等にご連絡ください）

ヘルパンギーナ

突然の高熱と、のどの痛み、口の中の水疱、口内炎が特徴です。
症状が軽ければ1～4日くらいで解熱します。



プール熱

プールで感染することもあり、高熱が3～5日位続き、のどの痛み、目の充血、やかゆみなど、結膜炎のような症状も出ます。食事は消化の良い物を食べましょう。



手足口病



手のひら、足の裏、口の中に水疱ができ、発熱することもあります。食事は喉越しの良い物を食べましょう。

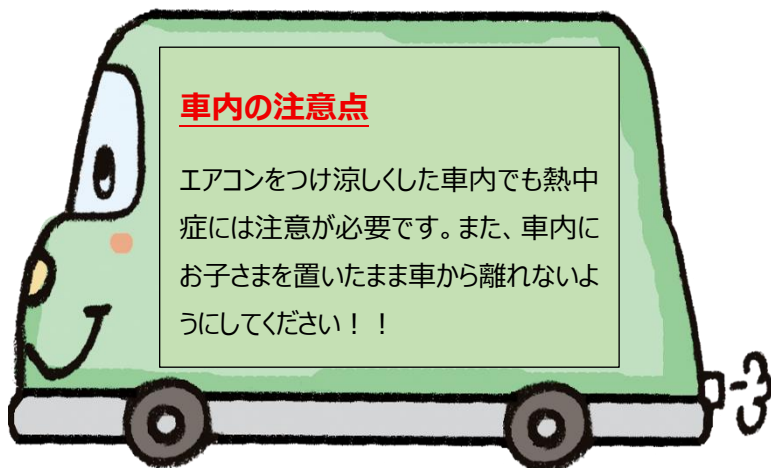
流行性結膜炎

目が腫れ、充血し、普段より多く目やにや涙がでます。周りの人への感染源となるので、タオルは共有しないようにしましょう。

今年の梅雨は涼しい日もあり、体調を崩してしまう子どもたちも見られます。本格的な梅雨がはじまり梅雨明けには、暑い日が続くので、熱中症には十分注意していかなくてはなりません。水分補給や体調管理に気をつけながら元気に過ごしていきたいと思います。

車内の注意点

エアコンをつけ涼しくした車内でも熱中症には注意が必要です。また、車内にお子さまを置いたまま車から離れないようにしてください！！



室内の温度調節

室内にいても熱中症になる時があります。クーラーを上手に使うことで温度調節をしましょう。扇風機と一緒に回すと、空気が巡回して、室内の温度が一定に保たれます。また、お昼寝の際には、室内でも日陰になる場所を選び、クーラーや扇風機の風が子どもの体に直接当たらないよう、工夫しましょう。設定温度は、27～28℃が適温と言われています。また、乳児のお昼寝の場合は時々手足を触るなどして、冷えていないかどうか、チェックしましょう。

